

# 環境活動レポート

平成22年度版

(平成22年5月～平成23年4月)



平成23年8月28日

株式会社副島印刷

## 組織の概要及び対象範囲

事業所名	株式会社副島印刷
所在地	佐賀市高木瀬西6丁目11番3号
代表者	代表取締役社長 副島 克利
事業内容	折込チラシ、パンフレット等及び各種帳票類を含む総合印刷 ホームページ制作、モバイル事業
社員数	33名
出荷額	259百万円
床面積	1,285㎡

環境管理責任者 福島 貞幸

Tel 0952(31)6688

Fax 0952(31)6690

Eメール sada-f@spc-e.jp

### 当社所在地図



# 環 境 方 針

## < 基本理念 >

株式会社副島印刷は、印刷事業者として地球環境保全がこれからの人類共通の最重要課題の一つであると認識し、事業活動のあらゆる面において地球環境に配慮して、省資源、廃棄物の削減、汚染予防に努めます。

## < 環境方針 >

当社の事業活動において、上記の基本理念をより不変のものにする為に次の方針を掲げ、事業活動に積極的に取り組めます。

1. 環境活動においては次の項目に取り組み、環境負荷の低減に努めます。
  - (1) エネルギー（電気、ガス、軽油、ガソリン）の節約推進を行います。
  - (2) 廃棄物を管理し、削減とリサイクルに努めます。
  - (3) 節水に取り組めます。
2. 生産資材及び副資材には、利用効率の向上と環境負荷を低減したものを使用します。
3. 全ての事業活動の中で、環境に関する法規制及び当社が同意する協定を遵守すると共に、技術的、経済的に可能な範囲で、環境に影響を与える恐れのある事業活動を管理します。
4. 社会の一員として、地域社会への貢献活動を推進します。
5. 環境に配慮して、グリーン購入に積極的に取り組んでいきます。
6. これらの環境方針は、全社員教育を通じて周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高めるように努めます。

平成19年 7月21日 制定

平成23年 5月 1日 再訂

株式会社副島印刷

代表取締役社長 副島 克利

## 平成22年度 中期目標

環境目標		平成22年度	平成23年度	平成24年度
平成21年度の実績を基準値とする		22/5~23/4	23/5~24/4	24/5~25/4
1	二酸化炭素排出量の削減 基準値762(kg/売上百万円)	3%削減(739)	2%削減(724)	2%削減(710)
2	廃棄物排出量の削減 基準値54(kg/売上百万円)	3%削減(52)	2%削減(51)	2%削減(50)
3	水使用量の削減 基準値3(m3/売上百万円)	60%削減(1.2)	2%削減(1.18)	2%削減(1.16)
4	グリーン購入の推進 基準値68%(グリーン購入額/文具購入総額)	68%	70%	72%
5	刷り直し件数の削減 平成21年度の実績 7件	7件	6件	5件

## 平成22年度 環境活動計画

### 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	活動項目	スケジュール	責任者	評価
1 電気使用量を3%削減	1 空調機の保守、フィルターの定期清掃	22/5~23/4	福島	○
	2 適切な温度管理をする	"	"	○
	3 常に節電を心掛ける	"	"	○
	4 クールビズの実施	22/6~22/9	"	○
2 軽油使用量を3%削減	1 安全運転、省エネ運転に努める	22/5~23/4	井上	○
	2 車両の適正な整備を心掛ける	"	"	○
	3 急発進、急加速をしない	"	"	○
3 ガソリン使用量を5%削減	1 安全運転、省エネ運転に努める	22/5~23/4	井上	○
	2 車両の適正な整備を心掛ける	"	"	○
	3 急発進、急加速をしない	"	"	○

### 廃棄物排出量の削減

取組目標	活動項目	スケジュール	責任者	評価
1	1 ゴミの分別の徹底、廃棄物の削減	22/5~23/4	足利	△
	2 環境に配慮した材料、消耗品の購入に努める	"	"	○
	3 グリストラップの定期的な清掃	"	岡	○
	4 溶剤、使用済みウエスの適切な管理	"	"	○

### 総排水量の削減

取組目標	活動項目	スケジュール	責任者	評価
1 水使用量を60%削減	節水活動の推進、漏水のチェック	22/5~23/4	福島	○

### グリーン購入の推進

取組目標	活動項目	スケジュール	責任者	評価
1 グリーン購入対象品比率68%以上	常に環境配慮を意識して購入を検討する	22/5~23/4	福島	○

### 刷り直し件数の削減

取組目標	活動項目	スケジュール	責任者	評価
1 刷り直し件数を7件以下にする	刷り直しが発生したら原因を良く把握する	22/5~23/4	足利	×

## 平成22年度 環境目標と実績

### 二酸化炭素排出量の削減 \*1

環境目標	単位	基準値(21年度)	平成22年度目標	平成22年度実績	達成状況
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/ 売上百万円	762	3%削減(739)	793	4%増加
電気使用量の削減	kwh/売上 百万円	1,091	3%削減(1,058)	1,185	9%増加
軽油使用量の削減	リットル/車両台 数	1,325	3%削減(1,285)	1,125	15%削減
ガソリン使用量の削減	リットル/車両台 数	1,545	5%削減(1,468)	865	44%削減

\*1 購入電力の二酸化炭素排出係数=0.369kg-CO2として換算

### 廃棄物排出量の削減

環境目標	単位	基準値(21年度)	平成22年度目標	平成22年度実績	達成状況
廃棄物排出量の削減	kg/売上百万円	54	3%削減(52)	44	19%削減

### 総排水量の削減

環境目標	単位	基準値(21年度)	平成22年度目標	平成22年度実績	達成状況
総排水量の削減	m3/売上 百万円	3	60%削減(1.2)	1.7	43%削減

### グリーン購入の推進

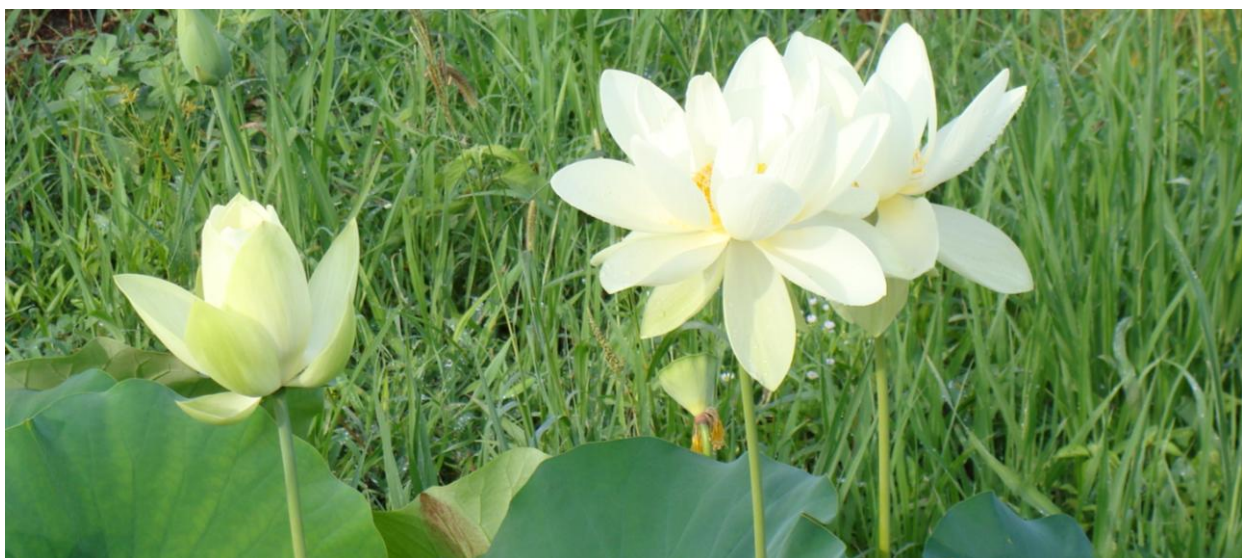
環境目標	単位	基準値(21年度)	平成22年度目標	平成22年度実績	達成状況
グリーン購入の推進	グリーン購 入比率	68%	68%	76%	8ポイント増加

### 刷り直し件数の削減

環境目標	単位	基準値(21年度)	平成22年度目標	平成22年度実績	達成状況
刷り直し件数の削減	件	7件	7件	8件	1件増加

## 平成22年度中に取組んだ主な環境活動

- |     |    |   |
|-----|----|---|
| 22年 | 5月 | 工場団地内の清掃活動  |
|     | 5月 | 夏季の期間、企画室鉄製扉への日射を和らげるため「よしず」を使用                         |
|     | 6月 | クールビズ開始（9月まで）   |
|     | 7月 | 佐賀大学の環境フォーラムの公開講座に参加                                    |
|     | 9月 | 工場団地周辺の河川の清掃  |
| 23年 | 1月 | 凍結のため水道管破裂、元栓バルブを閉め、翌日修理完了                              |
|     | 4月 | 佐賀県国際交流協会賛助会員となる<br>当協会を通じて使用済み切手をユニセフに寄付し、その活動に協力をしている |



# 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

作成日	責任者	作成者
H23年 6月 8日	福島貞幸	福島貞幸

法規	環境負荷発生設備他	適用条項	適用内容	管理部門	評価内容	確認者
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	第12条 第12条の3	マニフェスト票の交付 マニフェスト票の保管管理 前年度の産業廃棄物排出実績を佐賀県知事に報告する	総務部	産業廃棄物の処理委託をする時は、必ずマニフェストを交付している マニフェストはチェックして、保管している マニフェストの戻りが遅い時は、回収業者に催促をしている 産業廃棄物排出実績を佐賀県知事に報告している	福島貞幸
騒音規制法	印刷機械	第6条	特定施設の事前届出	総務部	昭和54年2月19日届出済み	福島貞幸
振動規制法	印刷機械	第6条	特定施設の事前届出	総務部	昭和54年2月20日届出済み	福島貞幸
下水道法	排水	下水道法施行令第9条	一定基準値以下の水質を維持する	総務部、第1、第2製造部	グリストラップの定期清掃を実行している 水質検査済 吸着マット使用	福島貞幸
PRTR法	有機溶剤	第4条、第5条	PRTR法該当化学物質の排出量の管理	総務部、第1、第2製造部	条例に沿った対応を行っている	福島貞幸
消防法	社屋全域	消防法施行令	防火管理体制の維持、把握	総務部	条例に沿った対応を行っている	福島貞幸
グリーン購入法		第5条	物品購入等の際し、できる限り環境配慮の物品の購入に努める	総務部	グリーン購入該当製品の購入に努力している	福島貞幸
労働安全衛生法	有機溶剤使用部署	有機溶剤中毒予防規則	有機溶剤の適切な使用と管理	総務部、第1、第2製造部	条例に沿った対応を行っている	福島貞幸
佐賀県環境基本条例		第6条	環境への負荷の低減に努める 廃棄物の適正な処理 再生資源の利用促進	全ての部署	条例の趣旨をよく理解し、環境活動に生かす	福島貞幸
佐賀市環境基本条例		第5条	環境への負荷の低減、環境の保全に努める	全ての部署	条例の趣旨をよく理解し、環境活動に生かす	福島貞幸

## 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

### 1. 当社に適用される主な環境関連法規

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

騒音規制法

振動規制法

下水道法

PRTR 法

消防法

労働安全衛生法

2. 当社に関係する上記関連法規について遵守状況をチェックした結果、法令違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘や利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 平成23年度 中期の環境目標

平成22年度の実績を基準値として削減する	平成23年度	平成24年度	平成25年度
二酸化炭素排出量の削減 目標基準値 793(kg売上百万円)	777(-2%)	761(-2%)	746(-2%)
廃棄物排出量の削減 目標基準値 44(kg/売上百万円)	43(-3%)	42(-3%)	41(-2%)
総排水量の削減 目標基準値 1.7(m3/売上百万円)	1.6(-3%)	1.5(-3%)	1.5(-2%)
刷り直し件数の削減 平成22年度の実績 8件	5件	4件	3件
グリーン購入の推進 目標基準値76% (グリーン購入額/文具購入総額)	80%	83%	85%

## 平成23年度 主要な環境活動計画

環境目標	活動項目	スケジュール	責任者
二酸化炭素の削減	電気消し忘れのチェック	年間	井上
	クールビズの実施	6月～9月	福島
	車両の整備、清掃を心掛け不用な荷物は載せない	年間	井上

環境目標	活動項目	スケジュール	責任者
廃棄物排出量の削減	整理、整頓、清掃の徹底	年間	岡
	エネルギーの活用、再生電池の活用	〃	福島
	資源物は正しく分別する	〃	福島
	インキは残らず使い切る	〃	岡
	文具等で詰め替え可能な商品を優先的に購入する	〃	福島

環境目標	活動項目	スケジュール	責任者
総排水量の削減	ホースノズルがついていても水道栓は必ず閉める (両方共閉める)	年間	岡

環境目標	活動項目	スケジュール	責任者
グリーン購入の推進	常に環境配慮を意識して購入を検討する	年間	福島

環境目標	活動項目	スケジュール	責任者
刷り直し件数の削減	刷り直しが発生したら原因を良く把握する	年間	福島

# 環境活動の取組結果の評価

## 1 二酸化炭素排出量の削減

22年度の電気使用の絶対量は夏の猛暑にも関わらず、対前年度比で約5%減少しているものの、計算式の分母に使用している売上額がそれ以上（約10%）に減少しているために目標より9%増加してしまった。他のエネルギーより電気の占める割合が格段に大きいので、電気の使用には一層注意を払わなければならない。

## 2 産業廃棄物排出量の削減

CTP、現像機メーカーと相談して現像液と洗浄水を減らすよう調整したことが良い結果につながったものと思われる。

## 3 総排水量の削減

目標達成こそできなかったが、今年度は水道管の漏水発生もなく前年度と比較して良好な結果を得ることができた。

# 代表者による全体評価と見直しの結果

しだいに社員の節電意識が薄らいで来ているように思える。また、資源物の分別仕分けにも時々間違いが見受けられる。環境管理者は社員の環境活動に対する指導、教育をもっとこまめに徹底していかなければならない。社員全員が初心に戻り、エコ活動の意義を再認識するようすべきだと思う。福島原発事故に加えて、国、自治体の不手際もあり、全国の原発の再稼働ができなくなっている。こういう時こそ節電の取り組みが一層重要になってくる。とりわけ、非生産用電力の省エネが重要であり、空調機のコマメな温度設定や不用な照明の消灯などを更に徹底して欲しい。